

令和4年度学校評価の結果について

貴重なご意見ありがとうございました。これからも安心・安全な学校づくりに努めてまいります。家庭・地域・学校がひとつになり子ども達の学びを支えていきましょう。今後ともご支援よろしく申し上げます。

令和4年度学校評価（児童）

□ そう思う □ だいたい □ あまり □ 思わない

地域行事への参加（3年以上）	34	29	26	11
地域のよさを見つける	64	22	10	4
家での会話・手伝い（3年以上）	50	34	12	4
早寝早起きメディアコントロール	51	33	13	3
宿題の他に自主勉強（3年以上）	33	32	24	11
家庭学習の時間※（3年以上）	13	39	37	11
先生は相談にのってくれる	74	22	3	1
先生はあなたの考えを大事にする（3年以上）	69	19	9	2
先生は褒めてくれる（1・2年）	75	21	3	3
友達と協力	74	20	5	1
授業に主体的に取り組む（3年以上）	37	35	22	6
授業が楽しくわかりやすい	63	27	7	3
自分のよいところと言える	43	34	18	5
めあてをもってチャレンジ	52	34	10	4
進んであいさつ	51	31	17	1
学校が楽しい	72	22	3	3

4：2時間以上 3：1時間以上 2：30分以上 1：30分未満

【考察】

- 「友だちと協力し合ったり、助け合ったりしている」が昨年度より大きく伸びています。また、「学校が楽しい」「授業が分かりやすく楽しい」「先生はよいところを褒めてくれる」「先生は、困ったときに相談に乗ってくれる」が高評価でした。このことから、おおむね温かな学級経営、学校づくりができていると考えられます。その結果、欠席児童が少なくなっています。（欠席0日50日）一方、「学校が楽しくない」「授業が分かりやすく楽しい」の評価を1と答えた児童もいるということもしっかり受け止め気をつけて見ていきます。
- 家庭学習時間の評価が大きく下がっています。3年以上で1時間学習しているのは52%で昨年度より15%下がっています。平日2時間以上は難しい児童もいますが、読書等にも取り組ませ1時間の家庭学習を目指していきたいと考えています。今後、タブレットを活用した家庭学習など内容を検討していきます。放課後のバスを待つ時間の使い方も工夫できるように、多目的ホールで学習する時間を設けるなど学校でも引き続き自主的に学習できる場の設定を行います。
- 「自分のよいところやがんばっているところをいえる」は上学年になるにつれて低くなっています。自己有用感がもてるように、授業の工夫、活躍の場等を考えていきます。
- 「自分から進んであいさつできている」「地域行事に進んで参加したりボランティアに取り組んだりしている」の評価が年々下がってきています。昨今の地域コミュニケーションの希薄さを感じています。学校目標「ふるさとを誇りに」を具現化するために、ふるさと楽行、地域人材の活用で、地域のよさを知り進んでかかわれるようにしていきます。また、各地区育成会とも連携をしていきたいと考えていますのでご協力お願いします。

【ふるさと楽行校長・学校運営協議会委員より（抜粋）】

- 子ども達の声から2日間のふるさと楽行開催に至ったことは大変うれしいことでした。
- 学校企画は、大変良い企画だと思います。子どもたちの元気な姿を見てこっこのほうも元気になります。学校と地域のつながりは、大切なことだと思いますので、これからもずっと続けていきたいと思っています。
- 全体的に時間が少ないので説明するものを吟味してはどうか。龍神沼等を散策しての朗読は大変よかった。

令和4年度学校評価（保護者）

□ よくあてはまる □ あてはまる □ あまり □ まったく

10 西川らしい教育活動	61	38	0
9 信頼される学校づくり	42	50	7 1
8 経営方針・教育活動等の周知	44	47	8 1
7 通学路の安全確保	35	55	9 1
6 みんなが活躍できる教育活動	37	57	4 2
5 みんなが活躍できる教育活動	42	53	5 0
4 楽しくわかる授業	23	57	19 1
3 問題行動・いじめのない学校	32	63	4 1
2 進んで元気なあいさつ	12	50	38 0
1 仲良く楽しい学校生活	46	52	0

【自由記述より】

- △ あいさつは、以前に比べておとなしくなったような気がします。
- △ 授業が分かりづらい授業があるようです。教え方がうまくなく子どもたちが理解しないまま授業も進むそうです。
- △ 冬道の下校登校時に歩道の雪をあまりにも早くはきすぎて子どもたちが歩くときは積もり過ぎていて大変なので考えていただきたいです。
- △ どこで誰と連携しているか分からない。
- ・ いつもたのしいと言って、にこにこ登校してくれます。
- ・ あいさつがあたりまえのこととなるようにしたいですね。
- ・ 学校でのバスの子の徒歩がもう少し長くてもいいのかなと感じます。
- ・ 学校日より、HPに行事などの写真が掲載されますが、白黒コピーのため誰が誰だか分からないことがある。毎回でなくとも写真が購入できる取組みがあればいい。
- ・ できれば写真があるお便りはカラーだと見やすいと思います。
- ・ 平日頃から校長先生をはじめ、職員のみなさまの献身的な取り組みに感謝いたします。
- ・ シーズンを通してふるさと楽行やカヌー教室、スキーなど西川町でしかできない経験を授業で取り入れていただきありがたく思います。（多数）

【分析及び対応策】

- ほとんどの項目が90%以上のあてはまるで高評価でしたが、低い項目は以下の2点でありました。
 - ① 「元気なあいさつ」は、あてはまるが62%と低い。学校だけでなく家庭でのあいさつの習慣化など一緒に取り組んでいけるようにしていきたいと考えます。ご協力お願いします。
 - ② 「わかる授業」は80%である。学校研究をとおして授業改善に取り組むことと、学力向上のために学校としてできることを職員一丸となって取り組んでいきます。
- 特色ある学校づくりは、100%あてはまるという結果である。自由記述にも多数継続の意見をいただきました。西川だからできる教育、西川らしい教育を継続し、学校目標「ふるさとを誇りに主体的に学ぶ、心身ともにたくましい児童に育成」を目指し教育活動を行っていきます。